



今回訪問した事業所  
社会福祉法人正賞会北のかがやき

男女が共に活躍している  
元気な市内企業を紹介します



副主任・生活相談員 菅原 由江さん

「ライフケア黒森」を中核とする正賞会は、4つの事業拠点で特別養護老人ホームやショートステイ、デイサービスなど14事業を展開。利用者に寄り添った介護サービスを提供しています。平成17年から始めた学習療法は、毎日20分程度の学習の積み重ねにより、認知症緩和・予防に効果が現れています。私はデイサービス事業所の相談員として、主に家族やケアマネジャーへの連絡、利用者の送迎や入浴介助、レクリエーションの運営などに当たっています。勤続10年目、現在はスタッフの指導や業務調整などの仕事も加わりましたが、やりがいを持って従事しています。育児休暇後は子どもの体調不良などでフルタイム勤務が難しくなりましたが、周囲の理解もあり、現在は育児短時間勤務制度を利用しています。

企業で取り組んでいること

- 職員が定年までやりがいを持って勤められるよう、職場環境や待遇の見直しはスピード感を持って取り組んでいます。
- 中途採用者研修やキャリア研修など、知識や技術の習熟に応じたきめ細かい研修を実施しています。
- 過去3年間の産休・育休後の復職率は92・6%。復職時は希望に応じて、可能な限り業務の組み換えや協力体制を整えます。
- 昇格後の職責、業務量を1年前に示すことで、心構えや知識・技術を習得できます。

● 過去3年間の産休・育休後の復職率は92・6%。復職時は希望に応じて、可能な限り業務の組み換えや協力体制を整えます。



▲レクリエーションを企画・運営



▲認知症の症状緩和・予防を目的とした学習療法



【企業の概要】

住所/黒森字菟山54-10  
従業員数/171人(うち女性136人)(平成29年4月1日時点)  
電話番号/92-3355  
業務内容/特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど

もやすごみや粗大ごみは酒田地区広域行政組合のごみ処理施設(広栄町)に運ばれます。広域行政組合では酒田市、庄内町および遊佐町のごみ・し尿の処理と消防・救急の業務を1市2町が費用を負担して実施しています。3つの自治体がバラバラに取り組むよりも合理的に運営できるからです。

平成14年度に稼動したごみ処理施設は約100億円で造られました。当時はプラスチックやビニールを燃やしても、ダイオキシン類の排出抑制ができる高性能な焼却炉という面がクロージアアップされましたが、他にもさまざまな特徴があります。

- 灰を溶融してスラグ(ガラス状の固化物)とし、建設資材などに活用することができます
- 最終的に埋立処理となる灰の発生が少ない



酒田環境衛生課管理係  
☎31-0933

● 焼却の過程で鉄やアルミを分別・回収し、再資源化できる

またごみ処理施設は、ごみを燃料とした発電所でもあります。以前の施設では、プラスチック類は「埋立ごみ」としていましたが、現在の施設では「もやすごみ」として焼却できるため、ごみの持つ熱エネルギーを利用して発電ができるようになっていきます。発電した電気は施設の電力として使って、余った電気は電力会社に売っています。

「それじゃ、ごみをいっぱい燃やして発電したほうがいいのでは？」と思うかも知れませんが、発電量には上限があります。ごみを適切に分類したり、生ごみの水切りを徹底してごみを減量したりすることにより、効率よく発電し、売電することができます。